

■小林清親 文明開化期の風景・風俗を描いて日本の近代版画を創始。風刺漫画家となって漫画隆盛の道も拓いた。

こばやしきよちか

・ ・ ・ ・ ・ 1847 = 江戸本所御蔵屋敷の御蔵方組頭の家に生まれた。

ペリー来航・1853 = 6歳 :

安政大地震・1855 = 8歳 : 安政の大地震に会うが無事。

松下村塾・ ・ 1856 = 9歳 :

桜田門外変・1860 = 13歳 :

生麦事件・ ・ 1862 = 15歳 : 父が死去し、家督を相続。

薩摩藩士密航1865 = 18歳 : 將軍家茂上洛に際し御勘定下役として従う。江戸を立ち京都の後、大坂に滞在。

明治維新・ ・ 1868 = 21歳 : 鳥羽伏見の戦いに参加、彰義隊の戦争現場を目撃。

戊辰戦争終・1869 = 22歳 : 旧幕臣とともに静岡に下る。三保の後、浜名湖畔に移る。

明治6年政変 1873 = 26歳 : 江戸に戻る。この頃、剣術興行団に加わる。

佐賀の乱・ ・ 1874 = 27歳 : 母が死去。本格的に画業に専心。河鍋咄斎、柴田是真に日本画を、下岡蓮杖に写真術、C. ワーグマンに洋画を学んだといわれる。

三つの反乱・1876 = 29歳 : この年、結婚。*「光線画」と称した木版画連作「東京名所図」を発表し、文明開化期の新旧入り混じった風景・風俗画により広く大衆の共感を得た。

西南戦争・ ・ 1877 = 30歳 : この頃、傑作「海運橋(第一銀行雪中)」「新橋ステーション」。

大久保暗殺・1878 = 31歳 : 長女誕生。井上安治が入門。漆絵や泥絵も描き、木版画の技術を独自に開発。

琉球処分・ ・ 1879 = 32歳 : 傑作「高輪牛町隴月景」はじめ、多くの作品を発表。{安津満新聞}の挿絵を描く。

明治14年政変1881 = 33歳 : *両国大火で罹災。その後の久松町大火を主題にした作品などを加えて、版画家清親の名は不動のものとなる。これらの作品は浮世絵版画の技法によりながら、西洋画の明暗、遠近法の表現を取り入れ、この点で日本の近代版画の創始者といえる。{団々珍聞}の入社。以降、国粹運動の影響で洋画をすて、「清親ぼんち」を描き始め、

岩倉具視没・1883 = 36歳 : この年、妻と離別。

_{驥尾団子} {朝野新聞}等の新聞・雑誌を舞台に痛烈な社会・政治批判をする風刺漫画家として活躍。

帝国憲法発布1889 = 42歳 :

大本教・ ・ ・ 1892 = 45歳 :

日清戦争始・1894 = 47歳 : *画塾を開く。{団々珍聞}を退社。日清戦争による戦争画を多く描く。「百撰百笑」などで再び話題。

白馬会・ ・ ・ 1896 = 49歳 : 「日本名勝図絵」を描き始める。

この間、国内各地を写生旅行。

田中正造直訴1901 = 54歳 : _{二六新報}に関係、新聞記事の件で一時未決監に入れられる。

日露戦争終・1905 = 58歳 : 妻が浅草花屋敷に店を持ち、絵葉書・扇子絵を売る。*日露戦争を主題にした戦争画を多く描く。以後も肉筆画も含めて描き続けるが、画家としても風刺漫画家としても精彩を失い、

韓国併合・ ・ 1910 = 63歳 :

明治天皇没・1912 = 65歳 : 妻が死去。揮毫会が開かれる。

第一次大戦始1914 = 67歳 : 「清親百画頒布会」が開かれる。

21ヶ条要求・1915 = 68歳 : _リューマチが悪化、没した。